

【書く・なぞる】俳句 小林一茶 四

目見る 雀の群れや 稲の束

餅つきや あたり一面 母の声

この道や 行く人なしに 秋の暮れ

親譲り たまの着物の 虫干や

朝顔に つるべ取られて もらひ水